

## カリキュラムの POINT

## 世界経済の仕組みとその問題点の理解を促すカリキュラム

世界経済を構造的に把握し、貧困や格差の問題の解決の道を自ら発見する力が身に付くようにカリキュラムが構成されています。「アジア・発展途上国研究コース」、「欧米・先進国経済研究コース」、「国際金融・貿易・政策コース」の3つが用意されています。



## 学科の学び TOPICS

## 外交の現場に触れ、国際的視点で、世界経済における日本経済のあり方を考える

国際経済学科では、各国地域政府が提供するプログラムに参加することで、世界経済及び日本経済のあり方を考える取り組みが行われています。例えば、あるゼミナールは、各国機関が主催する各種のセミナーや講演会に可能な限り参加するようにしています。2014年には、アジア研究の大家であるエズラ・ヴォーゲル博士（ハーバード大学名誉教授）の講演会や、世界有数のシンクタンク「戦略国際問題研究所」の特別シンポジウムが、西南学院大学で開催されました。国際経済学科の講義やゼミナールでの学びは、こうした講演会やシンポジウムの内容を理解することに役立っています。なかには英語で積極的に質問したりする学生もいます。さらに、こうした取り組みを通じて、外国の最新の知見を得るだけでなく、それをベースに私達が暮らす日本経済のあり方を考える良い機会にもなっているようです。国際舞台で活躍するために一緒に学びませんか？



エズラ・ヴォーゲル博士の講演（西南学院大学にて）

## 教員プロフィール

- |                                                      |                                               |
|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| アルバート L. デュラン 教授<br>英会話、時事英語教育に関する研究、<br>キューバ政治経済の研究 | 立石 剛 教授<br>アメリカの国内経済構造と<br>世界経済との関連分析         |
| 東 茂樹 教授<br>アジア経済論・地域経済統合の<br>政治経済分析                  | 上垣 彰 教授<br>ロシア・東欧の市場経済化の比較分析                  |
| 河村 朗 教授<br>中東産油国の経済と資源経済の分析                          | 尹 春志 教授<br>地域経済統合の比較研究<br>国際投資協定と開発政策空間に関する研究 |
| 三宅 伸治 教授<br>経済成長論                                    | 李 善英 准教授<br>理論経済学および国際経済学の研究                  |
| 村岡 伸秋 教授<br>中国経済改革の諸相                                | 加藤 眞理子 准教授<br>インドにおける人口移動と所得分配<br>の経済分析       |
| 尾上 修悟 教授<br>国際収支と国際投資の<br>歴史的理論的分析                   |                                               |

## 主なゼミテーマ

- アジア経済と日本
- エネルギー問題、  
中東・北アフリカ諸国経済
- 失業問題を多角的に理解する  
(ただしマクロ経済学的な視点で)
- 新たな国際環境とアジアの経済
- 欧州の金融財政危機
- アメリカ経済
- 各国経済の比較システム論的考察
- 2008-2009の世界金融危機以後  
の世界経済の変化について  
各地域(アメリカ・欧州・アジア)の  
現状を分析
- グローバル化から見る日本経済
- 経済発展、所得分配、貧困問題、  
ジェンダー問題、移住、送金

※主なゼミテーマは、2016年度開講のものを記載

## カリキュラム

## Zoom in! [本学科の注目科目をご紹介します]

	第1年次以上	第2年次以上	第3年次以上	第4年次以上	
専攻科目	理論経済学	●経済数学I△ ●マクロ経済学I△ ●政治経済学 ●ミクロ経済学I△	●経済思想史 ●国際経済学△ ●計量経済学I ●環境経済学 ●労働経済学	●法と経済学	Zoom in! >>> 02 80ページ
	経済史		●アメリカ経済史△	●日本経済史△ ●西洋経済史△	
	経済政策		●経済政策I△	●国際経済政策	
	国際経済	●世界と日本の経済△	●世界経済論△ ●資源経済論△ ●中国経済論△ ●東南アジア経済論△ ●中東経済論△ ●アメリカ経済論△	●国際経済開発論△ ●比較経済体制論△ ●発展途上国経済論 ●海外直接投資論△ ●韓国経済論△ ●ヨーロッパ経済論△	Zoom in! >>> 01 78ページ
	財政学・金融論			●財政学総論 ●金融論 ●国際金融論△	
	統計学	●基礎統計学△	●統計学総論		
	社会政策		Zoom in! >>> 03 80ページ	●社会保障論 ●医療経済学 ●社会思想史	
	演習	●基礎演習I○	●基礎演習II△	●演習I○ ●発展研究A・B△	●演習II△ ●卒業論文△
	外国語	●経済英語I△ ●経済英語表現I△	●経済英語II△ ●時事英語II△ ●経済英語表現II△ ●時事中国語I ●韓国語会話	●経済英語III ●時事英語II ●経済英語表現III△ ●時事中国語II	
	実習		●マクロ経済学実習 ●ミクロ経済学実習 ●経済情報処理実習 ●商業簿記実習 ●工業簿記実習	●経済英語実習	
関連科目	経済理論及び 経済政策		●経済数学II ●マクロ経済学II ●ミクロ経済学II ●経済地理 ●社会政策	●計量経済学II ●経済政策II ●地方財政論 ●日本経済論 ●地域開発論 ●産業組織論 ●証券投資論 ●環境政策 ●労働政策 ●公共政策 ●経済統計論	
	商学			●国際ビジネス論I ●海外ビジネス事情I ●銀行論 ●金融政策論 ●証券論 ●証券市場論 ●保険総論 ●保険各論	
	経営学・会計学	●簿記原理I-II	●経営学入門 ●経営情報学入門 ●会計学原理I-II ●簿記原理III-IV ●原価会計論I-II ●会計監査論I-II	●経営管理論 ●経営組織論 ●マーケティング論 ●マーケティング戦略論	
	法学	●民法A	●政治学原論 ●国際政治学 ●国際関係史	●憲法 ●商法A ●経済法 ●国際法 ●国際私法I(総論・家族法)	
	情報処理	●情報活用基礎 ●情報処理応用IA~IE ●情報処理応用II-III			
	国際文化		●文化人類学A-B		
	社会福祉	●社会福祉原論I-II ●人権と福祉 ●生命倫理学 ●ボランティア活動論	●タナトロジー(死生学) ●ジェンダー論A-B	●公的扶助論	
	共通科目	キリスト教			
人文科学		●西南学院史 ●哲学 ●倫理学 ●論理学 ●日本史学 ●東洋史学 ●西洋史学 ●美術史 ●日本文学 ●西洋文学A・B ●中国文学 ●音楽史 ●心理学I-II	●法学(日本国憲法2単位を含む。) ●社会学I-II ●政治学 ●国際関係論 ●地理学概論 ●人権問題論 ●同和問題論	●数学入門I-II ●情報数学I-II ●物理学入門I-II ●生活の化学I-II ●地球科学I-II ●環境地理I-II ●生命科学I-II ●自然科学概論I-II ●環境の科学I-II	●英語 ●フランス語 ●ドイツ語 ●中国語 ●韓国語 ●イタリア語など

※○印は必修、△印は選択必修

## Zoom in! >>> 02

### 【国際経済学】

為替レート、国際収支、国際貿易などの国際経済理論について学びます。貿易や国際投資など国境を超えた経済活動について理解できるように、新聞やテレビでお馴染みの話題と照らし合わせながら平易に解説します。

## Zoom in! >>> 03

### 【東南アジア経済論】

日本と経済連携を深めている東南アジアを対象に、工業化の特色、農村の変化、通貨危機からの再建、地域統合と経済協力などを取り上げます。日本経済の問題にも解決の手がかりを考えます。

## 卒業後の進路

国際経済学科での学習を通して得た知識や経験は、世界各国や各地域の経済や世界全体に対する今後を展望する能力だけでなく、世界経済から日本経済を見る力も伸ばすことができます。そのため、本学科で学修したことは、世界で活躍したい人だけではなく、日本で活躍したい人にも役立っています。本学科の卒業生は、金融・保険、流通、製造、運輸などさまざまな産業において、日本と世界を舞台にして活躍しています。



学科で身に付けた経済の知識や英語力が、日々海外の方と接する仕事にダイレクトに活かされています。

2006年  
経済学部国際経済学科卒業  
(福岡県・久留米高等学校出身) 佐藤 公宏さん

## OB & OG's Message

日本通運株式会社  
福岡航空支店 輸入営業課 勤務

### 学生生活について

高校では英語科に所属しており、大学でも英語力を伸ばし、さらに社会で役立つ知識の幅を広げたいと思い本学科を志望しました。体系的な経済の学びと、ビジネスの現場で通用する専門的な英語の学びの2つの領域を複合的に学習し、身に付けた国際経済の視点や実践的なコミュニケーション能力が、海外のお客さまと接する今の仕事に直に活かされています。私の担当は、主に輸入貨物の通関や輸送手配業務です。弊社海外拠点(ローカルスタッフ)と顧客の要望に沿った輸送を調整するため、メールや電話で英語を使いコミュニケーションを取っています。経済が動けば物流も活性化するので、営業戦略の見通しを立てるために新聞各紙や業界誌で世界経済の動向をリサーチすることも欠かせません。こうした情報の収集や分析の際にも、学科で培った経済の知識や英文講読のスキルが役立っています。

### 先輩へのアドバイス

私は「アイ・ハウス」のアドバイザーの第1期生を務め、水泳部にも所属していました。こうした場で多くの人たちと接し、積極性や礼節を重んじる意識など、社会人として大切な人間性を養うことができたと感じています。西南学院大学には多様な成長が得られる環境が十分に用意されているので、目標を持って充実した4年間を過ごしてください。